

I 能登国の荘園・公領と地頭・御家人……………網野善彦

9

はじめに

- 一 荘園・公領の諸単位について——能登を中心に——
 - 二 荘園・公領の支配者の動向
 - 三 地頭・御家人の動向
- むすび

II 「下町野之庄岩蔵」現地調査の一端……………和嶋俊二

37

一 下町野庄の範圍

- 二 下町野庄岩蔵
- 三 温井氏から長氏へ
- 四 時国

五 寺家・社家

III 天正期の枡と検地——前田領を中心として……………田上 繁

57

はじめに

- 一 天正四年の算用状にあらわれる枡
 - 二 前田氏の初期検地にあらわれる枡
 - 三 珠洲郡西海算用状にあらわれる枡
- おわりに

IV 上時国家と下時国家……………坂下喜久次

107

一 左門様と藤左衛門様 二 両家の由緒書

三 土方領、加賀藩領の入会村 四 北村三左衛門分、奥野与兵衛分

五 長綱連の下し文 六 福光家の伝承記録

七 下町野領家方ヒツメ時国衛門太郎 八 土方領替地と北村三左衛門分

九 元和元年分離説 一〇 寛永十年誓詞文書

一一 藤左衛門久保の反骨精神 一二 稲葉左近の働きかけ

一三 加賀藩領藤左衛門家 一四 時国両家の危機

- 一五 祖父の願に叶った人物たち 一六 時国両家の農業経営
一七 歴史の深さ 一八 あとがき

V 奥能登時国家の建築について——建築年代の再検討……………

西 和夫 143

はじめに

- 一 時国宏家住宅
二 時国健太郎家住宅
おわりに

VI 近世前期奥能登における「下人」化の諸契機……………

関口博巨 159

——時国家の「下人」を中心に

はじめに

- 一 人身売買
二 違約と犯罪——近世の「身曳」
三 流浪民の定着と志願
おわりに

VII 能登土方領下の塩制について……………

白水 智 189

はじめに

- 一 奥能登時国村の曾々木
二 土方領下における塩制の推移
三 土方領下塩制のまとめ
おわりに

VIII 上時国家文書からみた宝暦期の奥能登上時国村の民家について……………

津田良樹 233

はじめに

- 一 上時国村について
二 史料について
三 上時国村の民家について
おわりに

IX 歴史学のなかの民衆像……………

橘川俊忠 241

- 一 民衆はいかにして研究されたか

- 二 顔のある民衆像は描けるか
- 三 民衆の顔を描くことに意味があるか

X 能登と北前船交易——下張文書の整理作業のなかから……………泉 雅博

はじめに

- 一 「上時国家文書」のなかの北前船交易関係文書
- 二 上時国家の北前船交易
おわりに

XI 古文書の語る時代と社会

- 日本海を渡った松前の「下肥」……………田島佳也 320
- 墓碑が語る時国家の女性……………窪田涼子 325
- 本百姓になりたがらなかつた水呑百姓……………白水 智 329